

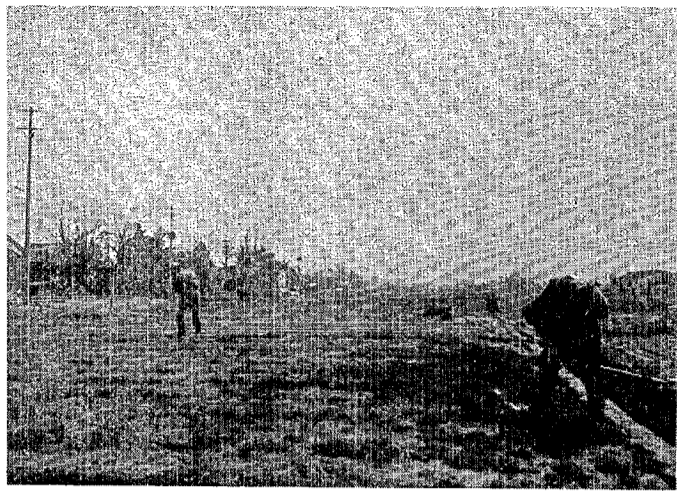
— 村民と共に歩む広報を —

毎月1回発行の広報「かたひがし」はみなさんが知っておくべき村政の動きをはじめ生活に役立つ情報、そして村民ひとりひとりが紙面に登場したひとつも興味をひくものがある広報紙づくりを行うべく作業を進めていますが、みなさんどのような意見をおもちなのか10代から60代の各年代男女の10名ずつの方々にアンケートを依頼しました。

回収されたアンケート中の要望事項には多くのご意見があり、学ぶところ大でありました。これを参考にさらに内容の充実した広報紙づくりに努めたいと存じます。アンケートに御協力された皆様には紙面をおかりしまして深くお礼申し上げます。

アンケート調査結果 (回収数61, 50%)

- 問1 あなたは広報「かたひがし」を毎月お読みですか。
- (1) 毎月よく読んでいます 31 (51%)
 - (2) 毎月ではないが読む 28 (46%)
 - (3) まったく読まない 2 (3%)
- 問2 お宅では毎月広報紙をつづっておられますか
- (1) つづつておく 11 (18%)
 - (2) 毎月ではないがのこしておく 14 (23%)
 - (3) つづつておかない 36 (59%)
- 問3 広報紙の内容について
- (1) 発行数
- (ア) 1ヵ月1回発行でよい 42 (69%)
 - (イ) 1ヵ月2回 15 (25%)
 - (ウ) 週1回 4 (6%)
- (2) 写真の掲載数は適当ですか
- (ア) もっとふやした方がよい 13 (21%)
 - (イ) 今までどおりでよい 42 (69%)
 - (ウ) それほど多くない方がよい 5 (8%)
- 無回答 1
- (3) 活字の大きさは
- (ア) 今のままでよい 53 (87%)
 - (イ) 大きい方が読みやすい 7 (11%)
- 無回答 1
- 問4 広報紙への要望を3つあげて下さい。
- (ア) 地域の話 30 (19%)
 - (イ) 村の将来の姿 29 (16%)
 - (ウ) 村の行事や催しもの 26 (15%)
 - (エ) 予算の内容 17 (10%)
 - (オ) 議会の動き 26 (15%)
 - (カ) 各種制度の紹介 12 (7%)
 - (キ) 小中学生、各年代層の活動 15 (9%)
 - (ク) 特になし 3 (2%)
 - (ケ) わからない 3 (2%)
- 問5 (問4)のほかに要望がありましたら具体的に記入下さい。
- 問6 昨年の4月号からの記事でよかったもの、また関心のあったものがあつたらお聞かせ下さい。
- 問5、問6については、1. 統一された配布日 2. 具体的な内容をもった議会だより 3. パットみて読みたくなるような構成等を、建設的なご意見がありました。これらは紙面の都合で省略させていただきますが、今後ご指導、部活の話題、文芸等の寄稿をお願い致します。



皆様御元気の事と思います。一陽来福と申しましうか厳しかった雪との闘いも夢の様に過ぎ去り、天地躍動の春が訪れました。卒業式、入学式、就職、退任、配置転換等喜怒哀楽こもこの季節でもあります。村といたしましては、昭和五十二年年度の仕事を始めます。本年も内外の情勢は極めて厳しいものがあります。村民の村民による村民の為の政をモットーに冗費を節約し、道路の整備、農業振興、生涯教育、生涯福祉の整備、春の農作業にはげむ横戸の高木さん(写真、春の農作業にはげむ横戸の高木さん)

の充実、生活環境整備、就中、農村組合整備モデル事業の推進等に全力を傾注いたす所存であります。尚、国民健康保険の問題も村民の生命を守る大きな仕事であります。国に対し技術的改革を要望いたしておるところであります。昭和五十二年度も大巾な増税をせざるを得ない事は誠に残念であります。村民の皆様には乱診をさげ、早期受診、早期治療、早期治療に心掛け下さい、自らの体を自ら守るの心意気で御協力を賜りたいと思っております。皆様の益々の御健康と御活躍を心から祈念申し上げます。

村の交通が安全に行なわれるように昨年の十月に村長の任命をうけ、交通指導員が誕生しました。とくに春、夏、秋、冬の交通安全運動期間中は昼夜活動されています。小中学生、園児および老人を重点にした歩行者、自転車乗りへの街頭指導、自乗車による安全のよびかけ、また交通が混雑する村民運動会等の村行事、祭典には現場の交通指導とわたしたちの安全な環境づくりの先頭に立ちたいと努めています。

新年度を迎えるにあたり

湯東村長 小林 貫以 智



昭和52年3月25日
第169号
発行
新潟県西蒲原郡湯東村
印刷
北洋印刷株式会社

<村の人口>

総人口	6,414人
男	3,149人
女	3,265人
世帯数	1,203

昭和52年2月28日現在

活躍が期待される交通指導員の皆さん

- 右から
- 長沼 正義さん
- 佐藤 留雄さん
- 渡辺知比呂さん
- 小林 昌一さん



村の交通が安全に行なわれるように昨年の十月に村長の任命をうけ、交通指導員が誕生しました。とくに春、夏、秋、冬の交通安全運動期間中は昼夜活動されています。小中学生、園児および老人を重点にした歩行者、自転車乗りへの街頭指導、自乗車による安全のよびかけ、また交通が混雑する村民運動会等の村行事、祭典には現場の交通指導とわたしたちの安全な環境づくりの先頭に立ちたいと努めています。

また、今まで支給要件として実際に入院以上必要だったのが、ギブスで固定した期間も実治療日数に算入され、支給の対象になりました。

こころはずむ春です

こどもの交通事故に気をつけましょう

長い冬が終わり、いよいよこどもたちが屋外で活動する季節になりました。これに伴ってこどもの交通事故が心配されますが、こども側に原因がある死傷事故は「飛び出し」によるものが80パーセントと最も多く、しかも事故の時間帯は家庭での遊び時間に発生しています。また事故の対象は幼児、小学校の低学年に多くなっていますので、家庭では特に次のことをよく教えましょう。

- 車のすぐ前や後ろを横断することは危険なこと。
- 横断の時はいったん止ってくれた車のかげから走ってくる車を確かめること。
- 道路での遊びをしない。

また、運転者はこどもの行動特性をよく理解して、

- 前方にこどもがいれば徐行する。
- こどものそばを通るときはいつでも止れる速度で間隔を十分とる。
- 住宅街や公園の付近など、こどもがいると思われる道路を通るときは、安全を確かめスピードを控えめにする。
- こどもが横断歩道を渡ろうとしていたら先に横断させてから通過する。

これらを守り、地域ぐるみでこどもたちを交通事故から守りましょう。

弥彦山頂素人将棋名人戦

堂々と三年連続優勝の坂井律夫氏

毎年建国記念日に西蒲原郡内の将棋名人が弥彦山頂に集い技を競います。今年、三糸市の強豪が加わるなか木村横戸の坂井律夫さんが三糸市で三年連続優勝の座につかれました。原田林をかけた名人戦は二月十三日(日)に二百名以上の大参加もあり、弥彦村体育館で熱戦がくりひろげられました。

「今回も県名人の参加もあり、とても優勝は無理だと思いましたが優勝したのは夢のようです」と喜びを語られた。

この坂井さんが将棋をはじめたのは二十歳の頃、ひまをみては友人と一手ずつたびにマッタ、マッタと言いつつ、のろい将棋であった。むずかしい局面に合



問題を解いた時に何んとも言えない爽快さを憶えた坂井さんは将棋の道にひかれ、二十年になる。

「将棋は頭のスポーツでストレス解消になります」と坂井さん宅二十坪の倉庫二階は将棋仲間が集まる道場になっています。

この仲間と共に湯東村の将棋の普及に努力したいと腕をみがき、ひいては県名人の座を夢にフアイトを燃やしている坂井さんです。

みんなの文芸

春の日に思う

卯八郎 愛

細川 ハツイ

長い間の雪もすっかり消えはじけ、空もようやく春めいてまいりましたが、梅のふくらみはまだ早いです。

このごろ卒業式、入学式の話が耳にします。高校進学の子供達はあわただしい毎日を送っていることと思います。私も昨年、新しいランドセルを背負った末の子供と一緒に校門をくぐったのが

わたしたちの方言をまとめました

～湯東村の方言集として発行された「湯里方言」～

農村に昔から使われていた方言を、たまたま教育委員会の委員で、湯東村の方言集をまとめた。これを後世に残そうとする意味で「湯里方言」として発行された。この方言集は主に横戸、水沢部落の方言を収録された方言を掲載した。

県下一斉 春の火災予防運動は三月二十五日(日)四月七日(日)の二回には充分注意しましょう。

青年団選手力のぞ

合併記念各支部レレー大会は四月三日(日)です。

停電のお知らせ

四月六日午前九時より午後二時まで称名全部、今井の一部で作業停電しますので御周知下さい。

身体障害者雇用促進法が改正になりました。詳しくは住民福祉課で。

から長谷川秀也委員がメモ採録したものをもとに旧大原村の方言を本間千代吉委員が加え、湯東村全村の方言集「湯里方言」の題名は、「湯東」の「湯」を漢音の「湯」と読み、「里」を「里」とし、行政区の「村」にこだわらない方言の性質を生かそうという考えで題名とされました。残念ながら各戸配布にはなりませんでした。次号より集録された方言を掲載いたします。

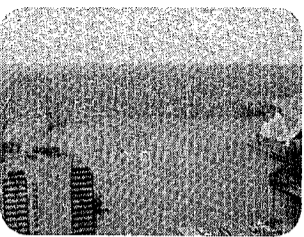
仲間たち



忍び難きを忍び

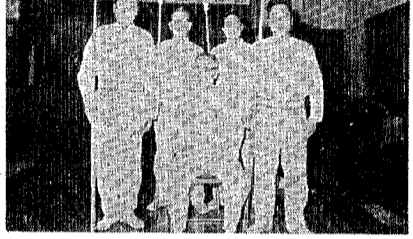
「忍び難きを忍び」という言葉は武道を志す者の精神であろうか。今回は銃剣道連盟湯東支部のみならず、近郷大武道にも参加して、三月の十三日に弥彦体育館で行なわれ、高年者の部で佐藤さんが三位に入賞された。この大会を足貫らされ、県大会へと意気が燃やされた。七月には県連主催の昇段審査が各地区ごとで開催されます。湯東でも審査を積

海外に学ぶ



最後の研修地、シドニー郊外のホームステイ。家までの車の中で、何かを話さなければいけないと思いつきながら、チャウと車、ブルード、ドゥといったので聞くと「ダットサン」だと言った。すべて日産の車はダットサンで通っているのだと思うと不思議な気がする。今度はむこうからしゃべりまくられ、わからないので首をかしげていると違う言葉で言ってくれる。それもわからないので英語の辞書を差し出すと、それにも出ていないらしく、今度は向こうが首をひねる。私が滞在したシドニーの家

「銃剣道をやっている子供の称号を受けた方が十五名、教士が会長の大谷誠明さんと県内では新潟市に次ぎ、湯東にも教士が多い会である。銃剣道は戦の武器であり戦時中の遺物というイメージがあるといわれる。しかしスポーツとは運動することによって体力を養い神経を敏感なものにするというのがねらいである。それに銃剣を生かしているにすぎない。昔、銃剣道に改名された銃剣道は、多くなつた変遷には多くの審判規定が制定されている。若し層にうけつづかないと記したのが全国的には広がりがつた。あり昨年、全国大会で小学生の部では中浦原越村の生徒が優勝を飾っていた。



湯東市立中学校の生徒が優勝を飾った。

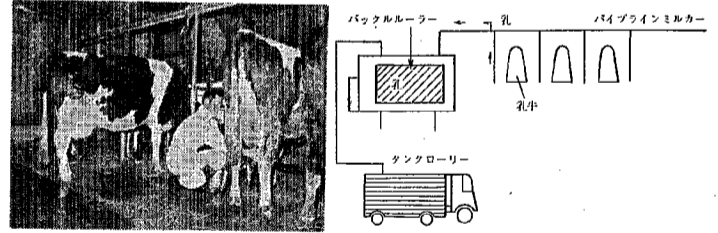
最後の別れの時は滞在の親切が身にしみ、不覚にも涙が流れて止まらなかつたことなどが懐しく思い出される。人間に生まれてよかつた。国は違つても喜んで、悲しんだり心は一つ、多くの人々との出逢ひはこれからの私の人生に永遠の光をなげかけてくれた。経済優先から国民優先が叫ばれはじめた昨今、日本人の忘れかけたものに、オセアニアの国々への思いが、オセアニアはあたりまえの事かも知れない。しかし、日本の現実をふりかえると常識が常識でなくなりつつある実状は若者達に何かを訴え、心にとめるべきものがあつた。この体験は、どんなに小さな青年活動に生かされるものと確信したい。いま、オーストラリア、ニュージーランドと、日本との結びつきは日増しに深くなつていく。そしてこの両国は日本人が感じている以上に日本に親しみをもち、日本との友好をさらに深めようとしている。こうし

「銃剣道をやっている子供たちは礼儀が正しい。この若い層を湯東村において育てるのが課題であります」と会長の大谷さん。会員のみなさん「自分の体を自分で鍛えながら地域の一人としてつくっていく」という意気込みで練習に余念がない。習いが道場に響いている。

た日本と重要な関係を持ち健全で健康的な国民の住む両国を今回第八回新潟県海外青年派遣団が訪問したことは極めて有意義であつたといえよう。最後に、この研修を陰ながら見守り応援して下さい。皆様様に心からお礼の言葉をのべさせていただきます。置きたいと思ふ。

わたしの副業 その七

わたしたちがテレビなどでみる乳牛は広い牧場で、二〇〇メートル離れた田んぼに建てた。この大きな畜舎には現在、二六頭の搾乳牛がいて、作業も手しほりからミルカーという機械で乳をしぼり、クーラーで鮮度を保つ。また昨年は五件の共同で稲わら回収機を購入された。今の農業は機械化で労力の省力化、軽作業になつた反面、経費にたかたかといわれるが、まず今の頭数を三十頭の搾乳牛に増し、大規模にしたうえで今の設備から、パイプラインミルカーとバッククーラーの導入で効率を上げ稲作の仕事にもより時間をくばれる。四九年にはさらに多頭化の必要性と、カ・ハエ、悪臭などの環境問題で畜舎を二〇〇メートル離れた田んぼに建てた。



白菊会をあなたのご存知ですか。この会は新潟大学病院におかれ、医師が死亡されたとき遺体を解剖され、進歩を目的に解剖されます。よい医師を生むためには、医大生七人一人の割合に解剖遺体が望まれます。このように情勢の中で遺体は金で買うわけにはいかないものであり、会員になつたから特別な待遇を受けたいという会員が湯東村からは横井の坂井熊一さん、坂井テフさん二名が席をおかれ、県内で二百名の方が何かのきっかけで自発的に遺体が医学の役に立てたいという人たちが構成されている。坂井テフさんは十日に亡くなられ、新潟大学病院に遺体をあずけられた。

自分たちの環境は自分で守ろう

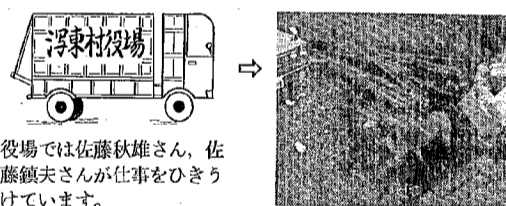
毎週、月、水、金曜日には「ゆちやけこやけの赤とんぼ……」とチャイムを鳴らしながらゴミ収集車が村内のゴミを集めてまわります。わたしたちが出すゴミはどのように処理されているのでしょうか、写真と図で示しました。このゴミが処理されるまでのひとつひとつのことを注意し協力し合えば美しく清潔な村になります。

家庭から収集所へ

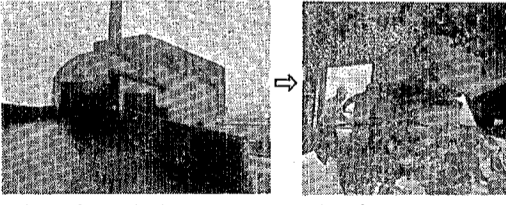


- (1) ゴミはできるだけ水分を少なくして出しましょう。
- (2) 袋のくちはしつかり結んで出しましょう。
- (3) ゴミは集めにくる朝出しましょう。

ゴミ収集車の回収



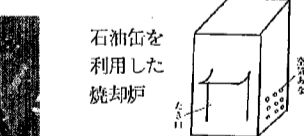
役場では佐藤秋雄さん、佐藤鎮夫さんが仕事をひきうけています。



巻町にある焼却場 1日に3往復される。

小さいゴミは家庭で処理しよう

紙類は、おたやかな気候を選び焼却しましょう。



・台所からの野菜くずや魚類は、庭木や果樹の肥料になります。再利用しましょう。

昭和51年湯東村人口移動調査結果表

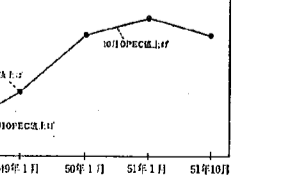
項目	総計		世帯数
	男	女	
50.12.31現在人口	6,276	3,051	3,225
出生	92	55	37
死亡	54	27	27
転入	138	55	83
転出	176	71	105
51.12.31現在人口	6,276	3,063	3,213

この調査は、住民の皆さんが、出生、死亡、転入、転出、などの届けをされた結果をまとめ、昭和五十年十月一日に行なわれた国勢調査人口をもとにして増減を調査したのです。(広報かたひがしで毎月公表されている住民基本台帳人口とは約一四〇人程、差があります。)

石油のほとんどは輸入

わが国の石油はその99.7パーセントを輸入しています。輸入価格は、ここ3年のあいだに5倍近くに上がり、さらに上がる傾向にあります。石油製品は大切に使いましょう。

わが国の輸入原油価格の推移



うぶごえ (2月中届出)

なまえ	生年月日	保護者	住所
星野 香織	52.1.26	義人	井五之上
兄玉 由康	52.1.28	健市	五之上
武田 美穂	52.1.29	良一	遠藤
長沼 大樹	52.1.31	正夫	茨島
渡辺真寿美	52.1.31	豊一	井随
星野 英樹	52.2.7	賢一	大曾根

おくやみ (2月中届出)

なまえ	なつらなれた日	年令	住所
富井 ミツ	52.2.10	58	五之上
竹内 武雄	52.2.10	63	番屋